

アンケート調査について現行プランで重点施策とした施策（分野）を中心に、
①基礎調査から見えた現状・ニーズを踏まえ、②次期プランにおける課題や方向性について要点をお示しします。

相談支援

関連施策 柱1 - 施策1 包括的相談支援体制の充実

①基礎調査から見えた現状・ニーズ

1. 身近な場所に、困ったときの相談先が必要
2. 専門的な知識を持った相談員が必要
3. どの相談窓口で相談すればよいかわからない
4. 相談内容や課題が多様化・複雑化している



②次期プランにおける課題・方向性

1. 専門的な相談にも対応できるよう支援者支援
2. 相談窓口のわかりやすい周知
3. 相談窓口と多様な支援機関の連携・協働



相談員の資質向上, 相談窓口周知, 多機関連携

くらし

関連施策 柱2 - 施策1 暮らしを支える基盤整備

①基礎調査から見えた現状・ニーズ

1. 現在も将来も自宅で暮らすニーズは高い
2. 自立した生活の支援や親の不安・負担を軽減する支援が必要
3. 拠点中心に支援機関が協働する仕組みが必要
4. 重度障害や医ケア等への対応が不十分



②次期プランにおける課題・方向性

1. 拠点を中心とした支援体制の充実
2. 必要な人に必要な支援が届くような周知
3. 専門性の高い支援が必要な方への支援体制



地域生活の基盤整備, 重度・重複障害等への対応

関連施策 柱3 - 施策1 就労支援の充実

①基礎調査から見た現状・ニーズ

1. 企業に対する障害理解が求められている
2. 障害の特性や状態に応じた就労環境のニーズ
3. 重度身体障害者等で就労先の選択肢が少ない



②次期プランにおける課題・方向性

1. 企業への障害理解啓発
2. 障害の特性や状態に応じた就労の場の確保



職場定着支援, 多様な働く場の確保

就労

関連施策 柱3 - 施策2 社会参加の促進

①基礎調査から見た現状・ニーズ

1. 「楽しみ」のための外出先が不足
2. 障害を問わず気軽に参加できる場所やコミュニティが必要



②次期プランにおける課題・方向性

1. 安心して過ごせる地域の居場所の確保
2. 趣味やサークル活動の場の拡充



社会とのつながり創出

社会参加

関連施策 柱4 - 施策3 切れ目のない支援体制の構築

①基礎調査から見た現状・ニーズ

1. ライフステージの変化で利用可能サービスが変わることへの負担感がある
2. 必要な情報が届いていない
3. 多様な分野との情報共有が必要
4. 支援機関の連携や役割分担が必要



②次期プランにおける課題・方向性

1. 制度の変わり目に対応した支援体制の整備
2. 不安解消のための情報提供の充実
3. 分野を超えた関係機関の連携



切れ目のない支援体制の充実

こども